

Governor's MONTHLY LETTER 2020

8

Rotary District 2750



Rotary Opens Opportunities
ロータリーは機会の扉を開く

ガバナー月信

8月号



Governor's Message

国際ロータリー第2750地区
2020-21年度ガバナー

福原 有一

松の事は松に習へ、竹の事は竹に習へ

この度、記録的豪雨がもたらした水害、土砂災害などにより、犠牲となられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された皆さま方に謹んでお見舞い申し上げます。さて、まだまだ収まらない新型コロナウイルス感染症（COVID-19）。9月からスタートさせる予定のガバナー公式訪問はどうなるのか見えてきません。私の参加の仕方もZOOMになるのかハイブリッドになるのか。ともあれロータリーは集うことが基本だと考えていますので、できればみなさんに直接お会いしたいと願っています。すでに7月実施予定だったP B Gの公式訪問は延期になりましたが、来年の春には実施したく希望しています。また、8月は「会員増強・新クラブ結成推進月間」ですが3年前の猿渡年度の「女性会員を地区全会員の20%以上にする」という目標は未だ達成されていません。ダイバーシティを支えるのは女性の力です。私の年度での達成をお願いします。

スケジュールも思い通りにならない事態ですが、ガバナー就任を機にこれからのロータリーの在り様を考えてみました。切っ掛けは「東アジア地区では、コロナ感染者数や死亡率が欧米諸国に比べて圧倒的に低い」というニュースです。要因はB C G予防接種が効いた、生活様式が違うせ

い、最近では遺伝子に解く鍵があるのでは？とか。私は、アジア的なゲマインシャフト（共同体組織）と欧米的なゲゼルシャフト（機能体組織、利益社会）との違い、その背景にある哲学や宗教の違いにあるのでは？と感じていますが…。

タイトルの「松の事は…」は芭蕉が俳句を作る上での心構えで、自分（自我）を消さって自然と同化しながら、松は松のままに、竹は竹のままに詠みなさいと、弟子たちに諭したものです。俳句にみるように、東アジアの考え方の基本は自我を捨てた「無心」です。一方西欧諸国を見ると、カント、ヘーゲル、ショーペンハウエル、サルトル等様々な哲学者たちは「自我の存在」を肯定することから始めています。「我思う、故に我あり」（デカルト）です。欧米では真理は一つであり、神もひとりです。東アジアの思想はヒンドゥー教、仏教、儒教、日本では神道と多様性が特徴です。共生が日常の世界です。

現代のグローバリゼーションはアメリカが中心になって展開してきた資本主義の行き着く先とも言えます。まあ、それが経済の発展を支えてきたわけですが、ここきて反省の時期に来ているようです。感染拡大のNYではお金持ちはNYから逃げました。一方アジアでは「自分もかからない、他の人にも感染させない」という共同体という考え方で地域社会を守っています。

1905年にポール・ハリスはアメリカの現状に危機感を持ちシカゴに共同体組織のロータリークラブを設立しました。今アジアでそれが普及するのも納得です。世界が混迷する中、ロータリークラブの価値は益々高まってきているのでしょう。



攻めより守りの増強へ

会員委員会 委員長 石川 和子(東京中央新RC)

2020年4月の緊急事態宣言以降、私たちの生活は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を前提としたスタイルに変化してきました。国際ロータリー（RI）でも例会や会議においてオンラインツールの積極的な活用を推奨するという声明が発表され、環境に適応する柔軟性が求められています。

今年度ホルガー・クナークRI会長が提唱したテーマ「ロータリーは機会の扉を開く」とその方針説明には、このコロナによる世界的混乱を予期していたかのように、まさに時代の変化に柔軟に対応することを掲げられていました。

また、福原ガバナーが提唱されている「バリアフリー・マインド」では、奉仕される相手と同じ目線に立ち、柔軟な心で活動をおこなうことが掲げられています。この方針に沿って、地区内のいくつかのクラブでは、従来の奉仕活動がままならないなかでも、コロナ禍の社会のニーズをいち早く取り込み、医療従事者への奉仕活動が数多くおこなわれています。そして今後も奉仕活動のみならず例会方式や親睦活動も柔軟な対応が求められてくるものと考えられます。

こうした中、会員委員会の3つの小委員会「会員増強・維持委員会」「ロータリー情報委員会」「親睦・親善委員会」では、前例のない昨今の状況に対応すべく方針を定めました。

特に「会員増強・維持委員会」は、例年において「増強」に重きを置いて活動していましたが社会情勢が不安定であ

ることに鑑みて今年度は「維持」に重点を置き、「攻めより守り」の姿勢で活動をしています。この会員基盤の「維持」に対する意識が、親睦活動の活性化や会員間の絆の強化につながり、結果的にクラブを守り将来的な「会員増強」に結びついていくことを考えています。

この年間を通した活動方針に加え、8月は会員増強月間であることから、増強における重要項目「女性会員、40歳以下の会員が入会しやすい環境づくり」を推奨し、バリアフリー・マインドで掲げる多様性と柔軟性をより実現していくことを目指します。

さらに、この重要項目の達成のため2種類の地区特別賞を設けました。会員委員会では①女性会員の入会を初めて認めたクラブには「女性会員に扉を開けた賞」、②女性会員の一定基準の純増を達成したクラブには「女性会員を勧誘した賞」です。

また、増強・維持に関する活動以外にも、地区内のクラブがどのように対応されているのか対応策をアンケートし、集計結果をまとめて会員委員会のホームページ等で情報発信をおこないます。

この未曾有の状況において、これまで長きにわたりおこなわれてきた奉仕活動やロータリークラブの基盤を守ることを最優先し会員委員会は一年間を通して活動していきます。

年間の月間テーマ

8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
● 会員増強・新クラブ結成推進月間	● 基本的教育と識字率向上月間 ● ロータリーの友月間	● 経済と地域社会の発展月間 ● 米山月間	● ロータリー財団月間	● 疾病予防と治療月間	● 職業奉仕月間	● 平和と紛争予防／紛争解決月間	● 水と衛生月間	● 母子と健康月間	● 青少年奉仕月間	● ロータリー親睦活動月間

2020-21年度 地区研修・協議会開催 (2020年6月23日開催)

地区幹事 井口 優(東京銀座RC)

2020年6月23日(火)、福原ガバナーエレクトの主催で2020-21年度の地区研修・協議会が開催されました。当日は、浅田ガバナー、クラブより会長エレクト、地区より水野次年度研修リーダーはじめ地区役員の総勢約130名が東京日比谷の帝国ホテルに参集しました。

次年度の三大研修は、新型コロナウイルスの影響で、2月17日の地区チーム研修セミナーだけが通常開催、その後の3月9～10日のPETSも、5月13～15日のPBGのPETSも、通信教育になっています。当初、地区研修・協議会も延期や通信教育あるいは中止を検討したのですが、年度開始前にクラブの会長エレクトと物理的に会う機会を持ちたいという福原ガバナーエレクトの意向もあり、そして幸い5月25日に日本政府の緊急事態宣言が解除になったことから、開催の運びになりました。

当日は、福原ガバナーエレクト、水野次年度研修リーダーの現況報告からはじまり、研修委員会や常設・直轄委員長から新型コロナウイルスを受けた新しい取り組みや従来の地区目標についてショートプレゼンテーションを頂戴しました。特に福原ガバナーエレクトや水野次年度研修リーダーの「デジタル化など

を通じて攻めより守りを意識しよう」「新型コロナウイルス以前には戻らないと考えよう」「現在の状況をチャンスと捉え、改めてロータリーの良さを確認し、従来の方法を見直そう」というメッセージは、参加者全員にしっかり伝わったと思います。

最後は、地区内のグループ毎にPETS修了証の授与が行われました。修了証を受け取る会長エレクトの皆さまの晴れがましい笑顔と伸びた背筋がとても印象的でした。

なお、こうした事情のため小規模の開催でかつ情報の提供が一方通行になった憾みもあり、また予算の承認など次年度準備の点からも全般的にタイトなスケジュールになりました。クラブの会長エレクトの皆さまはもちろん、当日のショートプレゼンを願った方々にも、さまざまなご意見や感想があったと存じますが、諸事情ご賢察の上、ご容赦いただければ幸いです。

今回の地区研修・協議会を通じ、クラブの会長エレクトの皆さまが次年度クラブ活動に参考となる手がかりを何かしらお持ち帰りになったなら、研修委員会や幹事団としては望外の喜びです。引き続き「機会の扉を開く」「バリアフリー・マインド」でどうぞよろしくお願いいたします。



福原ガバナーエレクト



水野研修リーダー



各グループガバナー補佐



PETS 修了証授与



2020-21年度 キックオフパーティー開催報告

地区代表幹事 安藤 重幸(東京銀座RC)

2020-21年度国際ロータリー第2750地区キックオフパーティーが、7月2日(木)に新生ホテルオークラ東京の41階バンケットホールで開催されました。本来ならばバストガバナーをはじめ地区役員を中心に多数の関係者が集まり行われるキックオフパーティーですが、ご存知の通り世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、福原ガバナー年度では出席対象者をかなり絞った上での開催となりました。福原ガバナーも挨拶でその事に触れ、「大勢の人々に声をおかけしたかったが、状況を踏まえできる範囲での対応になった」とのお話がありました。

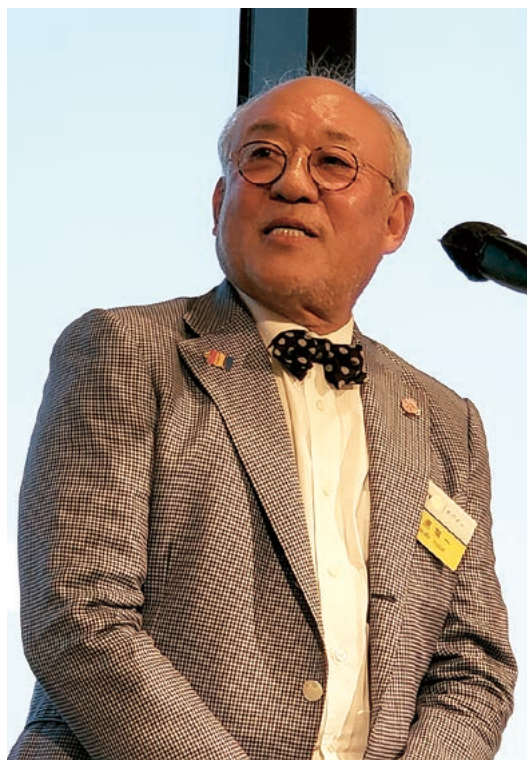
2020-21年度は準備段階よりコロナ禍で多大な影響を受けて参りました。三大研修の会長エレクト研修セミナーは動画を使用した通信教育方式で行われ、地区研修・協議会は参加者数を予定の1/5程にし、「密」にならぬよう細心の注意を払っての開催でした。地区役員会ではオンラインを使用し、状況に合わせ臨機応変な対応をして参りました。福原ガバナーはオンライン会議システムのZOOMをこれまで利用された事はなかったそうです。

しかし現在では日常的にそのようなITツールを使用し、さまざ

まななロータリー会議にオンライン出席しているとの話もございました。また宴席中に、ガバナー補佐からグループ内各クラブの新年度例会がスタートしたが、やはり通常とは異なる開催になっており会長の皆さまも大変苦慮されているとお聞きました。クラブ運営は各クラブに任されている事ではありますが、他クラブの運営方法の情報を必要としているのご意見も賜りました。地区といたしましてもできる限り迅速にクラブサポートを心がけていく次第であります。

年度の地区テーマは「バリアフリー・マインド」ですが、コロナ禍での地区の合言葉として福原ガバナーは「Keep Distance Remain Connected」を唱えております。対面式の例会で実際に会員同士が交流を持つ事こそロータリーの素晴らしいさであるとのご意見はその通りだと感じますが、それがさらに許されない環境が今後も起こる可能性も否定できません。たとえそのような状況になっても会員同士が繋がり、時節に合わせた奉仕活動を行えたらと存じます。

例年とは異なる社会環境が故、福原年度はそれに対応せねばいけません。参加者皆で今後に向けて情報交換ができる素晴らしい会だったと思います。



「私のバリアフリー・マインドシリーズ」① バリアフリー・マインドで扉を開く

銀座・日本橋グループ ガバナー補佐 時枝 紀子(東京中央新RC)

“バリアフリー・マインド”ととても素敵な心の在り方です。福原年度のテーマは温かく、新たな“機会の扉”を開く“鍵”と思います。

銀座・日本橋グループも老舗クラブが多く、素晴らしい先輩ロータリアンが沢山いらっしゃいます。そして、見習うべき伝統と品格がございます。今年は日本のロータリークラブ（東京ロータリークラブ）が創立され100周年の節目の年です。当グループとしても各クラブがそれぞれのロータリーの歴史を振り返りながら、その個性や魅力を再発見していただき、インターシティーミーティング（IM）をその披露の場としたいと考えております。

AIやIoTといった、いわば第4次産業革命と同時にCOVID-19によって世界が大変革を余儀なくされています。見方を変えれば多くの“機会の扉”を開く絶好のタイミングでもあります。ロータリークラブとして引き継ぐものを再確認し、若い世代は敬意とともにそれらを引き継ぎ、学び、新しい発想で多くの扉を開いていければと思います。

ロータリーの基本は人と人との信頼関係や“つながり”です。その“つながり”が維持できなければ会員維持も困難になってしまいます。この困難な状況下ではZOOMのような、新しいツールが大いに役立っています。ロータリアンの中には、新しいツールや、やり方には消極的になる方もいらっしゃいますが、リー

ダーシップを持ったロータリアンだからこそ変革の先頭に立てるのだと信じております。新しいツールを“バリアフリー・マインド”で取り込めば若い世代とのコミュニケーションもスムーズにでき、会員増強に役立てることもできます。とても楽しいことだと思います。

日本の、そして次世代のロータリークラブが世界で率先して行動できるように、“格好いいロータリアン”としてのひと仕事でもあります。大きな試練の年度になりますが、新しい時代の先頭を切るワクワク感をもって、楽しみながら皆さまと多くのことを学び“バリアフリー・マインド”で“Rotary Opens Opportunities”を実践致しましょう。



地区研修・協議会(6/23)を終え、グループの会長に囲まれて

2020-21年度 ガバナー公式訪問 日程表 (9月分)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
									稲城・iシティ	狛江・たまがわ			調布・調布むらさき	城西・西南・杉並		八王子・八王子東・八王子北	八王子西・八王子南					町田・中・町田東		日本橋東・シティ日本橋・山王			大崎・白金	恵比寿・渋谷	

クラブ名の「東京」を省略



ガバナー公式訪問についてのお願い

ガバナー月信・年次報告委員会 委員長

渡辺 和彦(東京銀座RC)

9月から2020-21年度のガバナー公式訪問が予定されています。新型コロナウイルスの感染第二波がささやかれている中、関係者の皆様はその進め方をめぐりいろいろご検討されていることと思います。ガバナー公式訪問を年次報告書に収録するため、例年通り公式訪問報告及び写真のご提供をお願い申し上げます。

毎月、当該月に公式訪問が予定されているロータリークラブに別途ご連絡を差し上げておりますが、ガバナー公式訪問の様子・感想・今年度のクラブ活動方針・課題・テーマ・抱負などの記事を1,000字程度におまとめ頂き、ガバナー懇談会の写真と共にお送りいただけますと幸いです。

特に今年度のガバナー公式訪問報告では、各クラブのメイクアップの実態についてのご報告をアンケート様式でお願いすることとしています。メイクアップについては昨年RIの規定が改訂されましたが、この規定改訂が第2750地区でどのように実践されているか、実態がわからない状態が続いています。「ロータリークラブの定款・細則が規定を順守していることを確認すること(RI規定が変更された場合は特に)」はガバナーの任務と定められていることに加えて、実態に即した出席率管理の在り方を整理するためにもご協力をお願いいたします。

この記事は、各クラブへの
「ガバナー月信 配信版」で
ご参照ください。

★国際ロータリー第2750地区出席報告(6月分)★

District 2750 Membership Attendance Report June 2020

G	クラブ名	例会	出席率	会 員 数			G	クラブ名	例会	出席率	会 員 数		
				19年7月1日	20年6月末	増減					19年7月1日	20年6月末	増減
千代田グループ	東京南	0		189	185	-4	山の手西グループ	東京世田谷中央	3	82.50	16	0	-16
	東京芝	4	70.52	50	56	6		東京米山友愛	2	65.00	34	35	1
	東京新橋	3	68.21	62	56	-6		東京米山ロータリーE クラブ2750	1	95.00	32	34	2
	東京赤坂	0		48	45	-3		東京代官山	2	52.00	21	28	7
	東京みなと	4	72.30	38	32	-6		東京八王子	4	71.79	67	63	-4
	東京麻布	2	56.25	13	15	2		東京町田	4	66.80	56	56	0
	東京グローバル	1	57.89	21	20	-1		東京日野	2	81.43	34	32	-2
	東京サンライズ汐留	3	57.90	21	16	-5		東京八王子西	4	90.58	106	111	5
銀座・日本橋グループ	東京銀座	1	78.36	184	180	-4	多摩南グループ	東京町田・中	4	83.27	27	28	1
	東京日本橋	0		202	204	2		東京八王子東	4	98.40	27	32	5
	東京築地	1	82.28	72	69	-3		東京八王子南	4	100.00	76	78	2
	東京日本橋東	2	100.00	47	41	-6		東京町田サルビア	4	75.76	30	35	5
	東京中央	3	60.27	211	203	-8		東京飛火野	4	84.70	21	22	1
	東京日本橋西	2	87.21	42	45	3		東京町田東	2	83.34	29	30	1
	東京銀座新	3	59.69	74	79	5		東京八王子北	3	96.66	39	43	4
	東京シティ日本橋	2	70.50	41	38	-3		東京立川	3	100.00	114	119	5
京浜グループ	東京中央新	3	60.90	58	56	-2	多摩中グループ	東京小金井	2	75.00	37	38	1
	東京あけぼの	3	71.10	21	20	-1		東京国分寺	2	90.52	34	32	-2
	東京山王	2	68.18	34	36	2		東京三鷹	3	73.50	44	42	-2
	東京羽田	0		55	55	0		東京昭島	4	75.72	54	55	1
	東京品川	2	82.36	47	41	-6		東京国立	2	100.00	49	47	-2
	東京大森	3	88.29	41	35	-6		東京立川こぶし	0		91	87	-4
	東京品川中央	0		31	30	-1		東京井の頭	4	100.00	26	23	-3
	東京田園調布	2	81.42	48	48	0		東京昭島中央	4	74.20	49	47	-2
山の手東グループ	東京港南マリナー	2	69.44	20	18	-2	多摩東グループ	東京武蔵国分寺	3	89.00	36	42	6
	東京大崎	3	77.64	29	24	-5		東京小金井さくら	2	80.00	23	25	2
	東京蒲田	3	94.50	60	59	-1		東京国立白うめ	3	90.40	16	17	1
	東京京浜	0		26	26	0		東京ピースウィングE	4	50.00	24	25	1
	東京田園調布緑	2	79.74	21	18	-3		東京府中	0		58	55	-3
	東京白金	3	81.30	32	25	-7		東京調布	3	75.00	64	64	0
	東京高輪	1	78.26	22	23	1		東京多摩	3	70.63	24	20	-4
	東京西	1	77.01	193	197	4		東京狛江	3	77.58	15	14	-1
山の手西グループ	東京城西	4	59.51	71	67	-4	バングラデシュ・ パシフィック・ ペイスングループ	東京稲城	3	74.64	30	29	-1
	東京西南	4	67.80	52	50	-2		東京武蔵府中	4	83.99	42	39	-3
	東京原宿	4	65.28	21	17	-4		東京たまがわ	2	73.20	21	21	0
	東京杉並	2	69.45	40	41	1		東京多摩グリーン	1	75.86	29	29	0
	東京神宮	3	93.60	27	24	-3		東京調布むらさき	3	100.00	69	71	2
	東京恵比寿	3	100.00	120	117	-3		東京iシティ	2	75.00	17	18	1
	東京広尾	3	62.96	28	24	-4		Guam			61	55	-6
	東京渋谷	1	81.94	34	35	1		Saipan			39	42	3
山の手西グループ	東京六本木	3	100.00	52	53	1	国内89クラブ計	Tumon Bay			61	62	1
	東京愛宕	5	84.20	30	31	1		Northern Guam	0		35	32	-3
	東京世田谷	1	93.33	47	44	-3		Pohnpei			23	23	0
	東京目黒	2	100.00	37	33	-4		Palau			16	16	0
	東京成城	3	75.00	16	17	1		Guam Sunrise	4	56.00	17	16	-1
	東京世田谷南	2	100.00	100	97	-3		Truk Lagoon			8	8	0
	東京城南	2	67.65	20	13	-7		Pago Bay Guam E			13	13	0
	東京山の手	1	84.29	71	70	-1		地区98クラブ計			4,742	4,644	-98
山の手西グループ	東京成城新	4	80.40	31	31	0							
	東京青山	1	72.60	23	16	-7							
	東京自由が丘	2	73.95	15	16	1							

：年間平均出席率

国際ロータリー第2750 地区 2020-21年度 ガバナー 福原 有一

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F 電話 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

Rotary International District 2750 2020-21 Governor Yuichi Fukuhara

KOKURYU SHIBA-KOEN BLDG. 3F, 2-6-15 SHIBA-KOEN, MINATO-KU, TOKYO, JAPAN 105-0011 PHONE 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

発行:ガバナー 福原 有一(2020-21) Yuichi Fukuhara 2020

編集・制作:ガバナー月信・年次報告委員会 委員長 渡辺 和彦(東京銀座) 副委員長 二神 典子(東京築地) 諸星 宗幸(東京八王子西)

委 員 須賀川 誠(東京銀座) 太田 智(東京中央) 高柳 公康(東京六本木)

浅川 立憲(東京八王子西) 端 晶弘(東京立川) 竹平 時彦(東京大森) 荒木 賢一(東京南)

ホームページアドレス

<https://www.rid2750.org>